



中之島だより

令和6年5月号

和歌山市立中之島小学校



今日から5月スタート！

【校長 太田 謙二】

新年度がスタートしてから約1か月が経ちました。今日から、早くも5月がスタートです。子供たちは、新しい学年やクラスになり、学習面や生活面ですごく張り切って取り組んでいる様子が伺えます。

1年生は、重いランドセルを背負い、毎日がんばって登校しています。午後の授業も始まり、少しずつ小学校生活にも慣れてきたように感じます。毎朝、私が、正門前で立っていると、上級生が、1年生の子をやさしく連れて登校している姿を見かけ、とてもほほえましく思っています。

保護者の皆さまには、先日の学習参観、懇談会、PTA総会にご出席いただき、ありがとうございました。子供たちのがんばっている姿を見ていただくことができよかったです。また、4月末から家庭訪問が始まっています。短時間ですが、子供たちの家庭や学校での様子などについて、お話しすることができて大変参考になります。

さて、中之島小学校は、長年、体育科の研究をしており、今年度は、11月8日に、和歌山県学校体育研究大会で研究発表を行うことになっています。運動・スポーツが、大好きな子供たちに育てて欲しいと願い、日々取組を進めています。



また、来月の6月1日に「全国みどりの愛護のつどい」が、和歌山城ホールを中心に開催されます。その開会式で、なんと本校の児童が宣誓をすることになり、大変名誉なことだと思っています。本校の玄関を入ってすぐの所には、地域のお花の先生が、毎週のように四季折々の花を生けてくださっています。栽培委員会の子供たちが、民生委員さんの協力を得て、花の苗を植え育て、校内を花いっぱいにする取組も進めています。運動面だけでなく、このような、子供たちの情操面を養っていくことも大事にしていきたいと思っています。

これから、季節的にとても過ごしやすい時期になります。子供たちが落ち着いて、毎日楽しく学校生活を送り、心豊かに育っていけるよう教職員一同がんばってまいります。保護者の皆さま、地域の皆さま、今月もどうぞご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。